

会 議 名	第15回 港区景観審議会
開 催 日 時	平成28年10月28日(金曜日) 午後6時から午後8時まで
開 催 場 所	区役所9階研修室
委 員	(出席者) 齋藤 潮 会長            杉山 朗子 副会長        大倉 富美雄 委員 沼田 麻美子 委員       宮脇 勝 委員            岡元 隆治 委員 八木 嘉也 委員           唯是 一寿 委員 (欠席者) 池邊このみ 委員        倉田 直道 委員
	(臨時委員：港区景観アドバイザー) 藤野 珠枝 氏
事 務 局	街づくり支援部長、特定事業担当部長、都市計画課長、開発指導課長、街づくり計画担当係長・係員、景観指導係長・係員
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	1. 開会 2. 議事 (1) 審議事項 港区景観街づくり賞の拡充について (2) 報告事項 平成28年度港区景観街づくり賞の受賞施設決定について 3. 閉会
配 付 資 料	資 料 1     港区景観表彰実施要綱(改正案) 資 料 2     港区景観表彰選定審査会運営要領(改正案) 資 料 3     景観表彰における一般公募の実施(修正案) 資 料 4     前回港区景観審議会での主な意見に対する対応 参考資料1  一般公募チラシ案 参考資料2  景観形成の基本方針(港区景観計画P13~24) 参考資料3  平成28年度港区みどりの街づくり賞・港区景観街づくり賞 パンフレット

会議の結果及び主要な発言

<p><u>事務局</u></p>	<p>(1) 審議事項 港区景観街づくり賞の拡充について (資料1～4、参考資料1、2説明)</p>
<p><u>会長</u></p>	<p>事務局としては、資料のスケジュールに沿って、現審議委員の任期中に実績を上げておきたいということである。</p>
<p><u>A委員</u></p>	<p>テーマを1つに絞ると第1回にしては難しいのかなと思う一方で、全テーマ同時募集にすると、「自然と歴史」などテーマが重複してしまうこともあり、類型化の際に難しいとも思う。そのあたりは1つに絞るといのはどのようにやるのか。また、審査方法で重点を置くのが地域性ということだが、景観でいいものという、必ず緑、樹木が出てくると思う。そうした樹木というのは必ずしも港区らしいというわけではなく、どこにでもあるとを感じるが、その時に地域性はどのように捉えるのか。</p>
<p><u>事務局</u></p>	<p>1つめの意見、テーマについては、資料4「前回のご意見に対する対応」の中で、何でもありで募集してしまうと、さまざまなスケールや性質のものが応募された場合、類型化し選定していくことが大変であるという意見があったこと、また、継続して表彰、公募を実施していく上では、毎年テーマを変えて募集していくことがその継続性にもつながると考えたことから、1テーマずつ順番に募集していくべきであると考えている。 また、4テーマの中でも、第1回としては、極力応募しやすいテーマがいいだろうということで、③の「街並み・街かどの景観」としている。</p>
<p><u>A委員</u></p>	<p>「街並み・街かど」というのは非常に大きいテーマだと思うが、その場合は、具体的な例を幾つか示さないと難しいのではないかという印象がある。</p>
<p><u>事務局</u></p>	<p>ご指摘のとおりだと考える。例えば、参考資料1のチラシ中、「今年のテーマは“街並み・街かどの景観”です」で、ここでは例として、「商業地、住宅地、通り、交差点などの一角」と記載しているが、この例示をもう少しターゲットがわかりやすいような工夫をできればと考える。</p>
<p><u>会長</u></p>	<p>港区の写真を使うわけにはいかないもので、事例を出すとなると何か工夫は要るであろう。</p>
<p><u>事務局</u></p>	<p>なお、募集テーマの1つ目、2つ目の簡条書きにおいて、あえて港区景観計画を</p>

	<p>応募者に見てもらえるような誘導をしている。景観計画に記載している景観形成の基本方針を見ると、「街並み・街かどの景観」としてどういったものを区として重要と考えているかと、考えや例示が記載されている。</p>
<p><u>会長</u></p>	<p>2つ目の意見についてはどうか。</p>
<p><u>事務局</u></p>	<p>地域性の視点、これも非常に難しい基準だと考えている。つまるところ港区の地域性とは何かということころだが、一言で言うと、場所、場所によって非常に多様で個性的な表情がつけられている。自然的な景観もあれば都市的景観もあるし、緑と一言で言っても、斜面緑地もあれば、大規模開発によって生み出される緑もある。そうした多様性があることに加え、歴史的建造物のような景観資源が非常に豊富にあるところも港区の特徴だと思うので、例えば歴史的建造物と連担してその雰囲気づくりをしている街並みなどがあれば港区の地域性として捉えられるのではないかと考えている。しかしながら、景観の性質上、審査基準は非常に抽象的で難しく、その辺は実際に審査を一回行う中で出てきた課題を踏まえ、次年度につなげていくような形でも考えたい。</p>
<p><u>会長</u></p>	<p>先ほども説明があったが、3つの視点を全て兼ね備えていなくても良いということなので、地域性に特化したものも出るかもしれないが、そうではなく波及性や発見性に重点があるような応募もあるかもしれない。そういうことで良いか。ほかにどうか。</p>
<p><u>B委員</u></p>	<p>区民景観セレクションは、落ちつくところに落ちついているのは良かったと感心しているが、唯一ひっかかったのが「街並み・街かど」というテーマ設定である。私の考えからいくと、景観をなぜ分類しなければならないのか。そもそも景観はその全体的なものの眺めであるのに、建物や緑地を分離してテーマ設定をするという発想自体が景観ではないと思う。あえてその単純な類型化というのが、景観分類というのはいろいろあると思うが、やや疑問に感じたので、そもそも何のために類型化しようとしているのかを説明してほしい。区民の方々に景観を正しく理解してもらうためには、全体であり、それをパーツに分けないというものの見方が日本人は弱いと思うが、そうした発想をどのように伝えていくのかということもあると思う。</p>
<p><u>会長</u></p>	<p>今の意見はそうしようというのではなくて、その経緯などを教えてほしいということか。</p>
<p><u>事務局</u></p>	<p>まず景観計画において、港区の景観はどういった部分が特徴的で魅力があり、それを踏まえてどういった景観をつくり上げていくべきかということを理解しやす</p>

	<p>くするべく、類型化して方針を掲げているので、その方針に沿ってテーマを設定するということが区民の方々に対しても分かりやすいのではないかとということと、あと、審査側の視点にはなるが、実際に絞り込みをしていく上では、ある程度同じ土俵、同じボリューム感の中で選定をするほうが、実態として選定がしやすいのではないかとこの考えのもとに、テーマごとの募集を考えている。</p>
<p><u>会長</u></p>	<p>B委員の意見はおそらく、例えば自然・地形を感じる景観として斜面緑地だけが景観を形成しているわけではなく、その斜面緑地を経て例えば東京タワーが見えるとか、そのようになっているのではないかとということである。そういう誤解を与えないよう、うまく伝えなければならぬ。例えば、こういうものを含んでいるという景観で考えれば、そこに東京タワーが出てきてもいいし、ランドマークのところに東京タワーがまた出てきてもいいと、そういうものではないか。</p>
<p><u>B委員</u></p>	<p>それと、今回テーマ設定してあるような「街並み・街かど」になると、おそらく建造物を中心にイメージするのではないかと思うが、それはちょっと誘導しているように思うので、景観を見てほしいというか、全体を見る目を養ってほしいと思う。</p>
<p><u>会長</u></p>	<p>単体よりももう少し広くというニュアンスをうまく伝えてほしいということであろう。</p>
<p><u>C委員</u></p>	<p>私の想定で言うと、景観セレクションをまとめていく上で、どのように景観の例を集めていくのかというときの呼びかけ方法を選ぶにあたって、今回は「街並み」というテーマで選んでいこうということを行っているのだと思う。</p> <p>ある程度、100選かどうかは分からないが、まとめていくときにどのように募集していくのか、ではこれは「街並み・街かど」ということでまず募集していこうということなので、そういう募集の仕方であれば、それは適当ではないかと思う。「街並み・街かど」だけでは困るが、そういうことではなく、翌年は違うテーマで募集し、トータルとしてセレクションが集まってくるという想定で、では1回目は「街並み」という募集の仕方の良いのだろうかということ議論するのであれば適切かと思う。</p> <p>景観はそういうものではないという議論は、本質的ではあるが、今回の議論とは少し違うのかなと思う。</p>
<p><u>B委員</u></p>	<p>例えば2回目、3回目のテーマはどうなるか。そこが想像できていれば、今言われたように、次が緑となってしまうと、単体になってしまう。景観の本質を見失わないようにしてほしいということで、最後にそのセレクションをどのように使うのかということが大事になってくる。</p>

<p><u>C委員</u></p>	<p>その通りだと思う。景観計画にある景観形成特別地区は、いわば港区らしい通りとして、例えば大門通りであったり、三田通りであったり、区として景観をある程度守っていこうというときの指標になったものの半分近くが「通り」となっているので、1回目も、いわば「通り」という感じでくくっているのですが、最初のくくりとしてはそんなものかなと思うが、それも今のご指摘のとおりで、全体としてどのようにやっていくのかという部分は、もう少し説明があっても良いと思う。</p>
<p><u>会長</u></p>	<p>景観と言うと、あまりにも漠としていて取っかかりがない。少し分かりやすくするために例を挙げると、今度はその例に縛られてという板挟みだが、やってみて、もしうまく伝わらなかった場合には、またいろいろと工夫してみようということではないかと思う。</p>
<p><u>C委員</u></p>	<p>今の続きになるが、全体として港区の景観を網羅すると言うか、特性をしっかりと表す形になるようにということは、この審議会として留意する必要があると思う。</p>
<p><u>会長</u></p>	<p>予定では5年に一度全体を振り返るといったことになりそうである。</p>
<p><u>D委員</u></p>	<p>今の話とは別のことで事務局に聞きたいのだが、資料2の審査会運営要領の条文で分からない点がある。第3条と第4条で、審査会の委員の「委嘱又は任命」という条文があるが、これは要するに外部の人は委嘱で、区の職員は任命であるから「委嘱又は任命」とわざわざ二重に書いているという理解で良いか。</p>
<p><u>事務局</u></p>	<p>その通りである。</p>
<p><u>会長</u></p>	<p>ほかにどうか。</p>
<p><u>E委員</u></p>	<p>先ほどの話だが、応募する側の意識を考えると、これは「街かど」なのか「街並み」なのかと判断しながら応募しなければいけないといったことが起こるのではないかということが少しひっかかる。</p> <p>また来年ほかのテーマでやるということがはっきりわかっているならば良いが、それも知らずに今年これをやりますということだけで、「街並み」とするのは少しひっかかる。ではどうするかというので、仮案だが、例えば全テーマを最初から出してしまい、私はテーマ3で応募しますといったことを応募者に選定させる方法で、毎年同じことをやる方が狂いが無いのではないかと思う。毎年変えて選んでいくと応募者がプロ化していくのではないかという感じがする。もっと素人、いろいろな人に入ってもらいたいと思うと、あまりここを細かくしてはいけないのではないかという印象を持った。</p>

<p><u>会長</u></p>	<p>自分はどの領域で出そうかとか、そういったことがあるので、よく分かる。しかし、初回に相当数の応募があつて、次回からあまり来なくなるということがあるので、毎回テーマが変わると楽しみになる。そういう意味では、意見があつたように、今年はこれでやるが、来年以降はこんなテーマで公募をしますというニュアンスがこの中にあれば良い。</p>
<p><u>E委員</u></p>	<p>5回のテーマはこれで、そのうち今回は「街並み・街かど」のテーマであるとするれば、もう少し分かりやすいかもしれないが、これだけぱっと出していくと疑問が生じる一般の人でも少なからずいるのではないかと思う。</p>
<p><u>会長</u></p>	<p>参考資料1では、チラシには書かずに景観計画を見て下さいという仕組みになっているが、テーマは幾つかあり、今年はこれですという案内があれば良いということか。</p>
<p><u>E委員</u></p>	<p>そういった提案である。</p>
<p><u>会長</u></p>	<p>ほかにどうか。</p>
<p><u>Aアドバイザー</u></p>	<p>個人的な意見かもしれないが、応募する側としてはもう少し具体的になっていたほうが応募しやすいのではないか。例えばだが、「東京タワーのある風景」というごくごく当たり前の港区のテーマを最初に持ってくると、いろいろな方向から東京タワーの見える風景を応募してきて、非常に応募しやすいと思う。東京タワーは「私はここから見るのが好き」という方が多くいる。審査しにくいかもしれないが、最初は取っつきやすく応募しやすいものが良いと思うがいかがか。</p>
<p><u>会長</u></p>	<p>皆さんいかがか。当初の事務局案は、具体的に東京タワーというのは出ていなかったが、「ランドマークのある景観」から始めようかということだったと思うが、それではやや取っつきにくいのではないか、目線の近くにある「街並み・街かど」から始めたほうが皆が入りやすいのではないかという意見があつて、「街並み・街かど」になっている。今みたいに東京タワーなどというのが如実に出てくると、それはわかりやすいと思うが、一方で次の手が打てなくなりそうである。</p>
<p><u>事務局</u></p>	<p>東京タワーが言わずと知れた港区のランドマークであることは周知の事実だと思うが、一方で、区としてランドマークの代表として「東京タワーのある景観」と打ち出すことがいいのか、あるいは「ランドマークのある景観」という中で、区民の方々から東京タワーをランドマークと捉えてたくさんの応募があることによって、やはり区民の捉えるランドマークは東京タワーなんだということ認識す</p>

	<p>る流れがいいのか、その辺の意見があればいただきたい。</p>
<u>B委員</u>	<p>ほかにランドマークと呼ばれるものは、例えば何だろうか。</p>
<u>事務局</u>	<p>例えばだが、レインボーブリッジなどもある。</p>
<u>事務局</u>	<p>「ランドマーク」から「街並み・街かど」に移行した大きな考え方というのは、募集テーマの中に「景観計画に記載されている基本方針に沿ったテーマを毎年設定します」といって、なおかつアスタリスクをつけて、「港区景観計画」はホームページでご覧になれます」と記載している、もう少しはっきりこの基本方針に誘導するべく、当初の「ランドマーク」よりももう少し間口の広いところで、基本方針の3の中から選んだような認識がある。</p> <p>写真コンテストではないので、基本的にはこの基本方針のローディングをしながら景観セレクションを選定していきたいと事務局では考えているが、キーワードを設定すると、どうしてもそのキーワードの持つイメージの方に応募側も含めて話がいつてしまう。我々としては、このセレクションで港区の代表的な景観を共有したいというのがあるが、もう一つ、応募者には景観計画に目を通してほしいという思いもあるので、端的にキーワードでずばっと切って、何かのコンテストみたいなものにはあまりしたくないという思いがある。</p>
<u>B委員</u>	<p>景観計画を改定したときの基本方針をそのように使うということ自体をあまり想定していなかったので、区民景観セレクションというのは、前回審議会での意見にもあった風景資産とか、港区の景観資源がどこにあるというものをイメージできるようにするという目的だと思っていた。この景観行政を推進していくときの方針を使うという意図も分かるが、そういう使い口で、直接リンクさせるものかどうかということは想定していないのではないかと。</p>
<u>会長</u>	<p>区民が大事にしているこの景観というのをみんなで共有したい。この大事さというのが景観計画の基本方針とリンクしていて、だから区民もこの景観計画をよく見て関心を持ってもらいたい。そういう普及啓発みたいなニュアンスであろう。いずれまた成熟していくと、今度は本気で資産的なものを選んでいこうという話も出てくるかもしれないが、このセレクションはもう少し普及啓発的なニュアンスでスタートさせてはどうかということである。</p>
<u>D委員</u>	<p>専門外なので聞きたいのだが、我が国の場合、社会的に景観思想とか景観フィロソフィー的なもので共有されている、概念として定着しているものがあるのか。それがあって、そのフィロソフィーに沿って港区も、こういう方針があって、計画があって、具体的な政策、施策があってという、その流れが社会的にある程度</p>

	<p>一つの制度的に確立されているような概念があるのであれば、その発想で成り立つかと思うが、要するに景観の思想というのは、具体的な施策をいろいろトライアルでやっていく中で、双方向、インタラクティブに形成されていくものだと考えれば、トライアル・アンド・エラーで、まず行政としてはいろいろな施策をやってみて、そこで吸収される反応をフィードバックして、改善していくというプロセスになると思う。委員が言われているのは、基本的には景観のフィロソフィーで社会的に確立されているスタンダードがあるという前提での話なのか、そこが分からないので教えていただきたい。</p>
<p><u>B委員</u></p>	<p>フィロソフィーというよりは、もう長年議論がされて、ただし残念ながら日本においてそれが定着しているかと言われると、海外の状況とは違うので、日本の景観の法律では、各地域で定めてそれでそれぞれやるようにという決め方しかない。なので、こういう場で議論して、その地域で、景観とは何なのかということをめぐる共通認識になるような活動に使っていかないと、結局皆さん、考え方が違うのではないかということになっていってしまうと思う。</p>
<p><u>D委員</u></p>	<p>私は昨年から委員になっているのでそれ以前の議論がわからないが、委員が言われるような景観思想について何か議論があってこの景観計画に至っているわけではないということか。</p> <p>それでは、まずは公共施策の設定としては、そういう思想についてまず根底の議論があって、それがあがる程度土台として固まって、その上に計画があって、施策が出るという流れでいかないと、公共施策の組み立て方としてはいささか違うのではないかなと思う。</p>
<p><u>会長</u></p>	<p>景観の本質論という話は、行政的な施策としてその本質に根差したような展開はなかなかできないものである。そもそもD委員が言われたように、景観自体の見方が変わっていくということを含めていくと、まさにトライ・アンド・エラーである。B委員が言われているのは、例えば路傍の地蔵様がかわいいから景観セレクションに応募しますということは単品であり、先ほどこのセレクションの中の自然の地形を感じる景観の中に、例として斜面緑地とか運河とか坂道はあるが、運河だけという景観は多分ないでしょうということである。その辺の誤解がないように注意したほうが良いということであって、この行政的に行う普及活動的なスタンスが、必ずしも学問的な意味での景観の本質論と結論が一致しなくても良いのではないかと思う。まさにトライ・アンド・エラーで、みんなと一緒にこういうこの賞をつくっていきましょうというのが趣旨だと思う。</p>
<p><u>E委員</u></p>	<p>景観についての研究や論文はあるが、一般の人が論理や理屈を知っていて応募するわけではなく、自分がきれいだと思った、良いと思ったものを出してもらおうと</p>



	<p>いうこと自体が、根源的な原理があってやっているわけではないと思う。</p>
<u>会長</u>	<p>区民が応募するのを楽しみにするようなことは必要である。委員が言われたように、やってみて、何か具合の悪いことがあったら、また議論して工夫していく、そういう流れの中で育てていくということが大事ではないか。</p>
<u>C委員</u>	<p>これを機に港区の景観計画を皆に読んでほしいという下心があるのは構わないが、それがあまり読まれていないのは努力の問題だと思う。他方で景観計画は結構よくできているということからすると、やってみたら、大体この辺におさまるのではないか。そういう前提で、この5個の方針がある。</p>
<u>B委員</u>	<p>景観形成の方針なので、これから形成するときどういう基本方針なのかという議論が当時されたものと思うが、今回の目的が、どういう資源が地域にあるのかということの把握だと思ったので、そこは直接結びつくのかという疑問がある。</p>
<u>C委員</u>	<p>まちづくりということと、現にあるもの、例えば歴史的なものもあるので言い方は難しいが、ある程度の率でこれは関わっていかないとまずいのではないか。一方で、将来100個選んだものがどういうものになるのかということをもう少し考えてほしい。住んでいる人、訪れてくれた人にも良い、そういうことで総合的にちゃんとできているような選び方を考慮してどのように募集するのかという話である。景観形成の基本方針と、これから募集するものとは、少しテーマが違うのでぴったりとは重ならないだろうが、8割、9割は重ならなくては困るのではないか。</p>
<u>D委員</u>	<p>区民から出てくるものは、広く募集することが目的なわけで、いろいろ出てきて良いと思う。たくさん出てくるかどうかは分からないが、それを選ぶ側が正しい景観フィロソフィーをもって選定できれば良いのではないか。区民の一人一人にそういうフィロソフィーを持っていてもらうことはまず不可能であるから、区民からは生活者目線での景観のイメージをどんどん出してもらい、それを選定する者たちが正しい思想のもとに選べば良質なものを決定できるであろう。そういうことが制度的にきちんと構築されていれば、私は問題ないと思う。そういうことで審査会を設けているわけであろう。</p>
<u>事務局</u>	<p>先ほどのトライ・アンド・エラーのように、やってみて、どんなものが来て、ではどういう判断をしていこうかという、それで区民の方に景観に関心を持ってもらえるよう普及啓発をしていきたいというのが行政の今の思いであり、ぜひ一度やらせていただいて、その中でまた議論していくという形でお願いしたいということである。</p>

F 委員	テーマは良いが、「街並み・街かどの景観」に対して例えばどんなものが出てきて、どんなものを選ぶという想定は何かあるのか。
事務局	想定が無いというより、想像がつかないというほうが近い。
F 委員	逆に、景観計画に出ている街並みが出てきたら、それは良い景観ということになるのか。
C 委員	そう思う人もいるかもしれない。
事務局	下心と言えは聞こえは悪いが、そもそも要綱に書いてある目的が景観に対する意識の向上と普及啓発みたいなことになるので、景観計画を普及するほうが主であって、サンプリングという見方でセクションが成り立っているわけではない。広い意味での普及啓発である。
C 委員	何年間かけて、どれぐらいの規模で、どうやっていくのかということが大事で、5年間でまとめるのだったら、3年目にレビューしなければならない。委員の任期もあと1年足らずなのだから、その辺をある程度示してもらう必要がある。あとは、私の持論だが、港区のランドマークといたら東京タワーだと思う。今回このセクションをした1年目が、東京タワー60年目で還暦を迎える。「東京タワー」という映画ができたりして、価値があると思っているけれども、いつまで本当に価値があるのかどうなのかはわからないので、東京タワーが港区の景観の中の大きな部分を占めるのだとしたら、その普及活動というのはずっとしていくべきで、このタイミングでどンドンプッシュしていかなくてはならない。
会長	これはもう別格なので、同じ路線で、テーマを決めてやるべきなのかは分らないが、何か特別の仕組みをつくって普及啓発していくほうが良いのではないかと。
B 委員	事務局にもう一言だけ解説すると、類型化をこの通りにする必要がないのは、例えば増上寺から東京タワーが見えている。緑もあるし、地形も見えていて、この分類でいくと、自然・地形、歴史・文化、ランドマーク、全て満たしている場所になる。しかも、道路軸の正面にあるということをとると街かどであるとも言えるわけで、持っているポテンシャルは相当のものがある。ランドマークとしても、例えば増上寺の三解脱門の木造建築というのは、東京で最も古い建造物のランドマークとしてその価値は証明できるわけだが、それらが総合化したときに景観の価値があるというところもわかっておいてほしい。そういう発想をしていただければ、より良いものになると思う。

<p><u>D委員</u></p>	<p>私は麻布地区に住んでいるが、生活者の視点からすると、区民が見る港区の景観とは、東京タワーとかレインボーブリッジとかいうものではない。それは東京の景観であって、港区の景観というのはもう少し身近なもので、例えば私からすると、六本木交差点の首都高のところに「六本木」と書いてある、あの景観が港区民から見る景観であり、イメージである。東京タワーやレインボーブリッジというのは東京都民とか日本国のレベルのフェーズの話で、生活者の視点から応募したら、もう少し違う場所がいろいろ出てくると思う。私だったら、それがきれいかどうかは別にして、六本木交差点の雑多な感じのところを一つ出したいと思う。東京都の景観セレクションという企画であれば東京タワーやレインボーブリッジが出てくると思うが、港区景観セレクションでやれば、もう少しローカルなものが出てくるのではないかな。</p>
<p><u>会長</u></p>	<p>ほかにどうか。</p>
<p><u>G委員</u></p>	<p>景観形成の基本方針というのは、周知するときには説明しても良いと思う。水と緑、歴史・文化、それから商業的なそういった港区の街らしさや、個々の小さな生活圏みたいな感じのところなど、そういったことに目を向けて考えてくださいという呼びかけはそれで良いと思う。そういった意味で言うと、募集要項は推薦理由のところも単に丸をつけるような形で応募しても良いのではないかな。</p> <p>今回のテーマは「街並み・街かどの景観」ということだが、最初は少し大括りでやって、選ぶときにテーマごとに平均的に選んだり、応募比率によって選ぶなど決められたら良いのではないかなと思う。</p> <p>景観に対する関心があまり高まっていないと言うが、小学校でも景観教育をやったりしているように、少しずつではあるが、区民に景観という言葉がなじみ始めている感じはある。表彰も、みんなで考えましょうといった形で、「みんなで考える景観大賞」のようにしてはどうか。</p> <p>あと、応募チラシのレンガの色が変に赤くなっている。また港区というのはあまりレンガのイメージが無いので、港区らしいビジュアルをセレクトしてほしい。</p> <p>また、街かどの例が、商業地、住宅地、通り、交差点と、少し堅い感じがする。すてきな住宅街の通りとか、もう少し開いた感じでわかりやすいほうが、関心を持つ若い方もいるのではないかなという期待がある。</p>
<p><u>会長</u></p>	<p>応募チラシは洗練させてほしい。港区の手づくりでやるのか。</p>
<p><u>事務局</u></p>	<p>そうである。</p>
<p><u>会長</u></p>	<p>商業地などが対象というのは堅いというのは、まさにその通りであろう。</p>

	<p>また、部門を分けずにざっくりやったらどうかという話も出たが、これまでの議論の中で、まずは一つやってみて様子を見ようということになったので、今後こういうテーマでやりますということを公表しながら、今年は「街かど」ということにしたいと思う。全部のテーマが見通せるようにしておいて、今年はこれですということスタートさせたいという趣旨である。</p> <p>こうすることで、本日はこの方向で進めてみようということになったので、協力をよろしくお願ひしたい。</p>
<u>D委員</u>	<p>一点、確認で事務局に聞くが、同様の企画を民間ではやっていないことを確認しているのか。似たようなことを例えば港区商店街連合会や法人会、商工会議所がやっているということはないか。</p>
<u>事務局</u>	<p>フォトコンテストであれば、観光部門でやっている。</p>
<u>D委員</u>	<p>もし同様の企画があるのだったら、連携してもう少し相乗効果が上がるように。無いのであればこの企画単体で良いと思うが。</p>
<u>事務局</u>	<p>それも有り、先ほどの応募ちらしで、写真コンテストではない旨の記述を入れている。</p>
<u>会長</u>	<p>それでは、景観街づくり賞の拡充については認められたこととし、具体的な作業を進めてもらいたい。</p>
<u>事務局</u>	<p><b>(2) 報告事項</b>  <b>平成 28 年度港区景観街づくり賞の受賞施設決定について</b>  (参考資料 3 説明)</p>
<u>会長</u>	<p>(審査の感想)  (その他審査委員からの感想)</p>
<u>事務局</u>	<p><b>3. 閉会</b>  次回の港区景観審議会は、改めて日程調整を行ったのち連絡する。</p>
	<p>閉会</p>